

平成 27 年度グループ研修報告

ープロジェクションマッピング技術による動的表現を用いた立体教材の開発ー

機械・環境建設系技術班 渡部 正康,

主 催：国立大学法人 愛媛大学
研修期間：平成 28 年 3 月 22 日（火）
研修会場：愛媛大学工学部

1. 研修目的

本研修はプロジェクションマッピング技術の導入による教育効果の変化について、比較展示や操作を通し習得することを目的として実施した。

2. 研修内容

自治体が地震津波対策に開示している被災シミュレーション動画について、平面と立体物である地形模型への重畳表示との比較展示を行い、それにより可読性が向上することを実演した。また、手指を認識する非接触センサー「LEAP MOTION」についてメーカー公式のデモンストレーションソフトにより機能を体験し、これを地形模型に組み込むことにより直感的描画機能を設けた試作品の操作を行った。

3. 研修成果

地形模型へのプロジェクター投影により、標高に応じて被災状況が変化する様子を直感的に捉えることができるなど、プロジェクションマッピング技術の教材としての利点が把握できた。また、模型に非接触センサーを組み込むことにより立体的なタッチパネルディスプレイの様に操作可能となることが確認できた。

謝辞：本研修実施に当たり、ご配慮・ご協力頂きました関係各位に深く御礼申し上げます。